

子供環境学習【環境について学ぶための取り組み】

現在のことだけではなく未来のことも考え、未来の子供達そして地球の生き物達のために、美しい自然を残していくこと。それが持続可能な環境学習の目的です。地球温暖化を防止すること、資源を大切にしたい循環型社会をつくること、そして地球の生き物が共存していくことのできる「持続可能な社会」の実現は、子供達が担っていくことになります。次世代を担う子供達に、毎日の生活の中でできることを考え、実行していくことを環境教育を通して伝えます。

ユニーは、持続可能な社会をつくっていくために、身近なユニーの店舗や循環型農業、リサイクル工場や大自然のなかで環境学習を実施しています。

循環型農業体験

- 食品廃棄物から再生資源になる過程の見学
- 循環型農業で収穫体験
- いろいろな生き物と一緒に生きていくことを学ぶ
- 畑の恵みをいただく

エコロお店探検隊

- 環境にやさしいお買い物
- 廃棄物をリサイクルする仕組みの見学
- バリアフリーなお店の見学
- 廃棄物を使ったエコ工作

夏休み自然探検隊

夏休みに白川郷の自然のなかで体験学習

地元NPOや地元企業との コラボレーション

地元のたくさんの人たちから学ぶ

リサイクル工場見学

廃棄物が再生利用される現場を見学

インタープリター養成

お店探検や農業体験、自然探検で子供達の案内役（インタープリター）を行ってくれる人材を育成

循環型農業体験

私達の毎日の食卓に並ぶ食物は、どのように作られているのか。ユニーの推進している食品リサイクルの仕組みを見学したり、田植えや収穫体験を通して「たくさんの生き物と一緒に生きていること（生物多様性）」や「食べ物を大切にすること」を学びました。

JAあいち海部の農業体験

JAあいち海部のエコ部会では食品リサイクグループで作った堆肥を使い、野菜や米を生産しています。店舗で募集した子供達やその家族と一緒に田植えや稲刈り、芋ほりなどの農業体験を実施しました。稲刈りしている田んぼでバッタを見つけました。



稲刈り



バッタ採り

三功・酵素の里の農業体験

三功・酵素の里では、ユニーから排出された食品残さから堆肥を作り、その堆肥を使って循環型農業を一貫して行っています。収穫体験を通して「よい土から美味しい野菜が取れる」を感じてもらいました。堆肥製造過程での臭いや熱を感じ、微生物が堆肥を作るところを体験しました。



堆肥場



芋ほり

2010年度、たくさんのお店で環境学習を実施しました!

